

監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールはこちらをクリック!

--山口戦に向けた準備期間立ち上げのミーティングでは、前節の岡山戦について、どんな振り返りをされましたか。

「試合の流れとしては、我々の方がチャンスを作れそうな展開だったと思いますが、強気なプレー選択をできていませんでした。試合の入り方で後手に回ってしまいましたし、弱気な姿勢を見せたことが一番の敗因だと思っています。ボールを持った時のボリューム感や、チームとしてのコンセプトは出せましたが、先に失点を喫し、その後のチャンスを決めきることができず、自分たちのことが信じられずに、どこか不安を持ちながらボールを動かしていました」

--前節は試合の入り芳しくなかったという反省点を活かし、今節は同じ過ちを繰り返さないように、より慎重に試合に入れるのでは？

「私も前節の課題を解決してくれることを願っています。ただ間違った方向に解釈してほしくないのは、早い時間帯に失点をしないために、何か特別なことをしなければいけないと選手たちが思ってしまうことです。とにかく勝負にこだわって、全てを出しきる。そして自分たちの力を信じて戦うこと。それができれば全く問題はありません」

--山口の印象は？

「ボールを保持している際の相手は、立ち位置を変えながら、流動的に戦ってきます。また先発11人とベンチメンバーの力の差もそんなにあるという印象を受けています。さらにセットプレーやカウンターもあります。ただ背後への対応には難があるチームです。アグレッシブに前へ出てくる分も、背後を突く形は活かしていきたいと思っています。前回対戦ではまさに背後を突く形で先制点を取りました。試合の中で作ったチャンスをしっかりと決めきれるかどうか。それも試合を決める重要な要素ですし、勝負を制するための分かれ目でもあります」

--山口戦はホームゲームです。ファン、サポーターの皆様へメッセージをお願いいたします。

「口で何かを言うよりも、前節の岡山戦で皆様の期待に応えられなかった分も、ピッチ上で我々らしさを発揮し、我々の力を示したいと思います。岡山でのあの試合で学べる点は、スタジアムに集結した方々の力が、どれほど選手たちのエネルギーやパワーになるかということ。ぜひ皆様の力強い応援で我々に力を貸して下さい。よろしくお願いいたします」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。
CLUB
ZELVISTA
オフィシャルファンクラブ
クラブゼルビスタ 2022
シーズンシート

クラブゼルビスタ2022
会員募集中!

